

令和2年度 第2回 帯広市都市環境デザイン委員会議事詳細

日時：令和3年2月3日（水）10：00から

場所：帯広市役所10階第6会議室

出席委員

赤嶺委員長、門副委員長、青木委員、小村委員、府川委員、紅葉委員

事務局

（都市政策課）

大橋都市政策課長、中島都市計画係長、梶山主任補、福井主任補、阿部係員

（住宅営繕課）

平主任

議事概要

1 開 会

2 委員長挨拶

3 議 題

（1）報告事項

ア 第2次帯広市都市計画マスタープランに基づく景観の方針について

事務局より、令和2年4月に策定した第2次帯広市都市計画マスタープランについて、景観に係る方針等の報告を行いました。

委員より、意見・質疑はありませんでした。

イ 令和2年度都市景観形成主要建築物に係る協議結果について

事務局より、「大空団地4街区 丘1・2・3号棟」に係る専門部会の協議経過について報告を行いました。

専門委員の門副委員長より、協議の結果、「本案件は都市景観形成ガイドラインに基づいて計画されている」と報告がありました。

委員より、意見・質疑はありませんでした。

（2）協議事項

ア 令和3年度帯広市まちづくりデザイン賞の開催について

事務局より、令和3年度帯広市まちづくりデザイン賞の開催概要について説明を行いました。

主な意見・質疑は次のとおりです。

【委員】

応募案件の現地視察の中止は、来年度に限らなくてもいいのではと思います。

またパネル展の開催は新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮して行うべきであり、他の効果的なPR方法についても検討していくべきです。

【委員】

今年度は開催を中止したが、賞の申し込みについて問い合わせ等はありませんでしたか。

【事務局】

例年募集を行っている7～8月頃にかけて、数件問い合わせがありました。

本賞の応募条件は新築に限ったものではないため、次年度以降の応募をご案内しております。

【委員】

昨年度の受賞案件の選考の際にも話がありましたが、毎年開催することについても検討が必要なのではないのでしょうか。

応募が毎年何十件もあるわけではないので、隔年開催などでも良いのではないかと思います。

【委員】

応募件数が少ない中で、無理に最優秀賞等を選出するのではなく、受賞案件なしという年度があってもいいのではと思います。

年度によって評価基準のばらつきをなくすようにしていくべきで、応募件数が一定の基準に達しなければ、次年度に繰り越しというのも1つの案だと思います。

イ 帯広市まちづくりデザイン賞実施要領細則の改正について

事務局より、帯広市まちづくりデザイン賞の応募基準、審査方法の見直しに係る実施要領細則の改正について説明を行いました。

主な意見・質疑は次のとおりです。

【委員】

従来の評価基準では曖昧な部分もあり、かなり悩む項目もあったので改正案の方が審査はしやすいと思います。

【委員】

現在は最優秀賞・優秀賞・特別賞の三種類があるが、順位をつけずに「デザイン賞」という1つのものにしても良いのではないかと思います。

景観に順位をつけることは無理があるのではないかとと思うので、過去の受賞建築物との兼ね合いもあるかと思いますが検討して頂きたいです。

【委員】

人によって感覚が違うので、評価が違うというのは大前提としてあると思います。

その中で帯広市が考える良い景観、目指していく方向性を共有していく必要があると思いますし、市民にも伝えていくことがこの委員会の役割でもあると思います。

【委員】

順位よりも応募案件に対する委員の評価理由が重要だと思うので、選考調書の選考理由がたくさん書かれることが望ましいと思います。

協議の結果、協議事項ア及びイについて、委員会からの意見等を踏まえた上で、事務局案のとおり検討を進めていくことと決定されました。

4 その他

都市景観形成主要建築物等に係る協議について、次のとおり意見がありました。

【委員】

都市景観形成主要建築物等については、今年度より専門委員を選出して協議を行いました。協議経過を随時専門委員以外の委員にも共有すべきだと思います。

専門委員を選出するという方法については、従来より設計者や市等の考え方を伺いながら協議を進めることが出来たので良かったと思います。

【事務局】

頂いた意見のとおり、次年度以降は専門部会での協議経過を委員会で共有するように見直しをしたいと思います。

5 閉 会

以 上